

## 取扱説明書

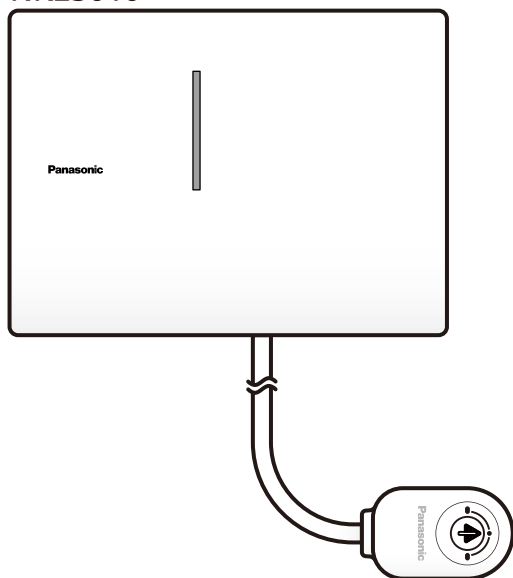
### 通信補助器

品番：NK23010

### もくじ


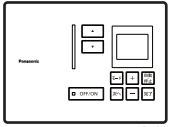

安全上のご注意 ..... 2  
 使用上のご注意 ..... 2  
 各部のなまえとはたらき ..... 3  
 最初の設定について ..... 4  
 設定の前に ..... 4

NK23010



該当の組合せページへ

設定詳細 組合せA ..... 5

PiPit  
 ハンディライコン  
 [NK23041]

コントローラ (壁付け)  
 [NQ23111]  
 [NQ23112]

通信補助器 (本器)

設定詳細 組合せB ..... 6





PiPit+  
 ハンディライコン  
 [NK23091]

コントローラ (壁付け)  
 [NQ23111]  
 [NQ23112]  
 [NQ23151]

通信補助器 (本器)

設定詳細 組合せC ..... 8





PiPit+  
 ハンディライコン  
 [NK23091]

コントローラ (天井付け)  
 [NQ23171Z]  
 [NQ23181K]

通信補助器 (本器)

通信補助器のアドレス確認 ..... 10  
 通信補助器のペアリングを解除する ..... 11  
 困ったとき ..... 11  
 お手入れのしかた ..... 12  
 安全点検について ..... 12  
 仕様 ..... 12

お客様へ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。特に、「安全上のご注意」(2ページ)を必ずお読みください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様へお渡しください。

◎上手に使って上手に節電

## 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

### 警告

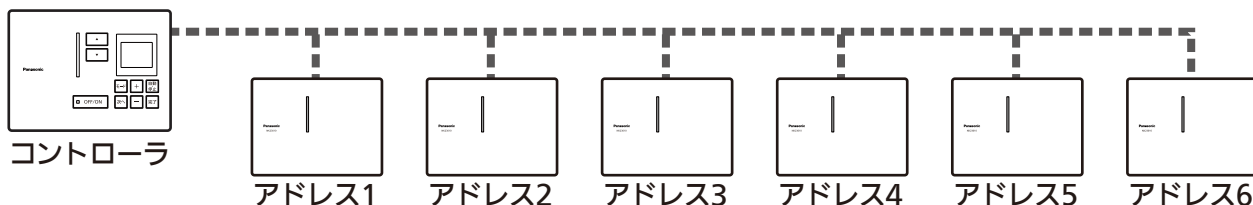
- 本器の分解や改造および修理はしない。
  - 本器に水をかけたり、洗剤などをふきつけたりしない。
  - 電源プラグを抜く時は、必ずプラグ部分を持って抜く。
  - 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
  - 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。
    - ・ 傷つけない ・ 加工しない ・ 熱器具に近づけない
    - ・ 加工しない ・ 引っ張らない ・ 重いものを乗せない
    - ・ ねじらない ・ 束ねない ・ ステップルなどで固定しない
  - ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。  
感電の原因となります。
  - 電源プラグのホコリなどは定期的に取り除く。  
プラグにホコリなどがたまると、湿気などで火災の原因となります。  
(ホコリがたまった時は、電源プラグを抜き乾いた布でふいてください。)
- 以上を守らないと、火災や感電の原因となります。

### 注意

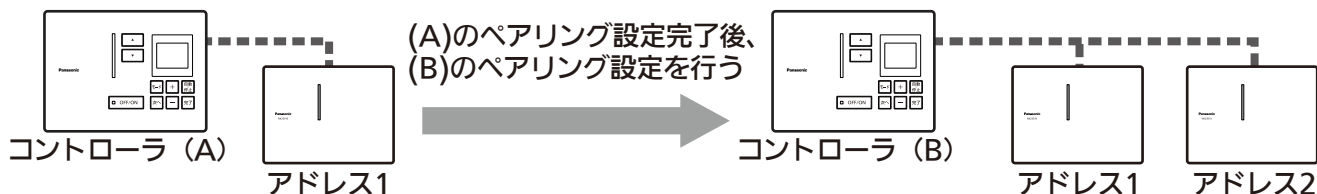
- 本器には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換してください。 ※使用条件は周囲温度35℃、1日10時間使用です。
  - ・ 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
  - ・ 3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。

## 使用上のご注意

- 周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 通信補助器はPiPitシリーズの各種コントローラからの電波を照明器具に中継します。  
最初にどのコントローラの電波を受信するかのペアリング設定を必ず行ってください。
- コントローラ1台につき、通信補助器は最大6台までペアリングすることができます。

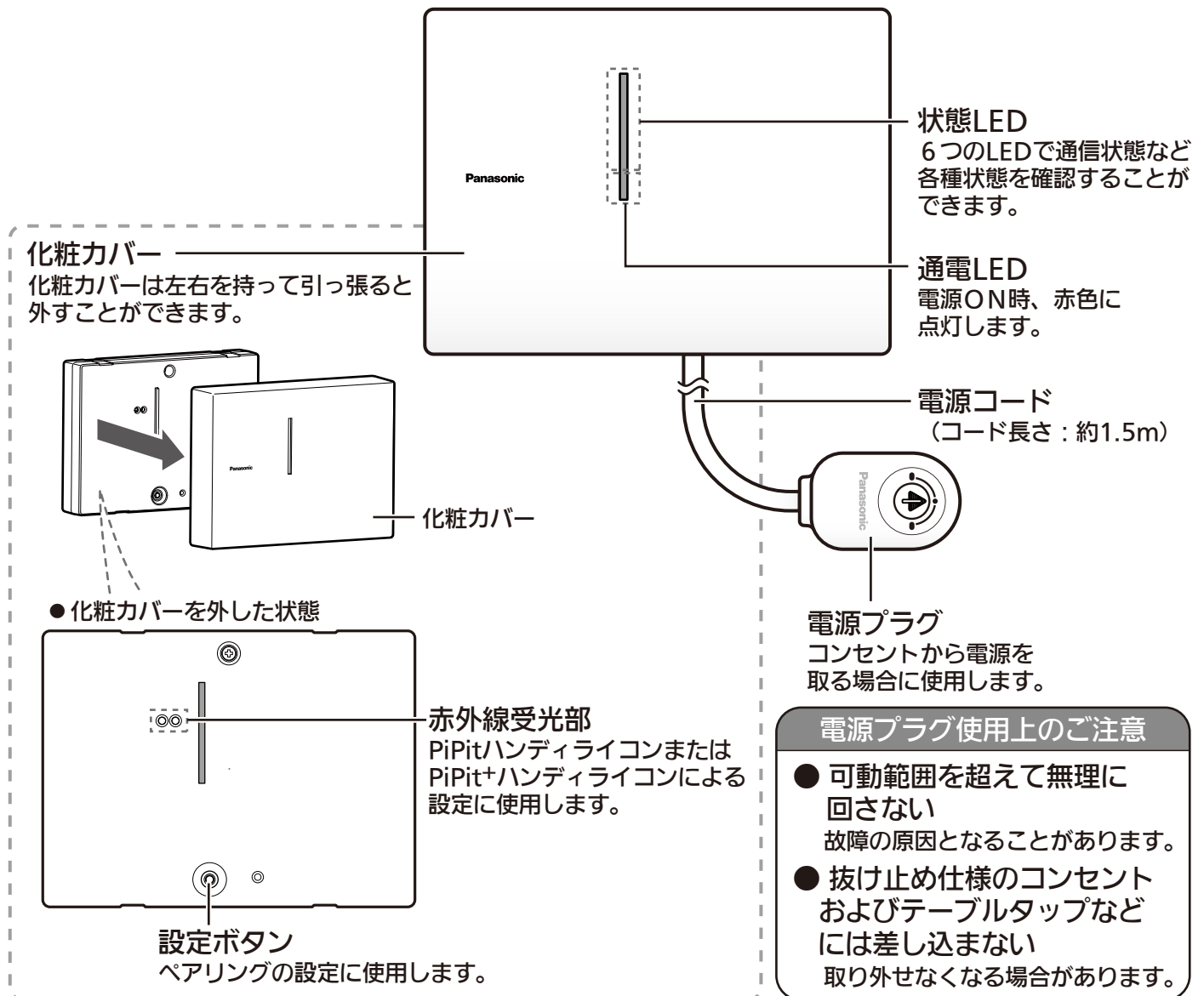


- 複数台のコントローラが近くに設置されている場合、1台ずつペアリング設定を行ってください。  
同時にペアリング設定を行うと意図しない機器同士がペアリングされる場合があります。



- 停電などで電源が切れても既に設定した内容は消えません。電源が入ると、停電前の状態に戻ります。
- 人命および社会的に重大な影響を与えることが予測される用途には使用しないでください。
- 通信補助器が電波ノイズを受けると、誤動作や動作しない原因になります。
- 送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため照明器具と本器は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。

# 各部のなまえとはたらき

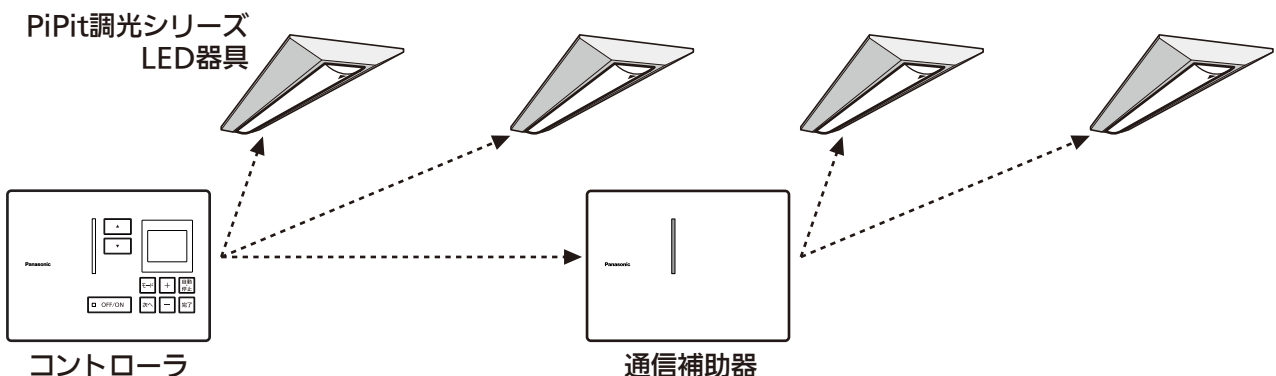


## 付属品

取付用丸皿タッピンネジ	2本	施工説明書(本書)	1部
固定用小ねじ(予備)	1本	取扱説明書	1部

## 通信補助器の機能

PiPitシリーズの各種コントローラからの電波を中継し照明器具に送信します。



※通信補助器の設置位置は、施工説明書の「設置場所について」を参考に設置してください。

# 最初の設定について

最初に、必ずコントローラと通信補助器のペアリング設定を行ってください。  
(設定までの流れは下記ようになります。)

## 1. コントローラと通信補助器の通信確認

通信補助器はコントローラからの電波を中継し照明器具に送信します。  
通信確認でコントローラと通信補助器間で正常に電波を中継できるかを確認します。

## 2. コントローラと通信補助器のペアリング設定

どのコントローラの電波をどの通信補助器が中継するかを設定します。  
コントローラと照明器具のペアリング設定を行う前に、必ずコントローラと通信補助器のペアリング設定をしてください。



※ ペアリング設定せずにコントローラを操作しても、通信補助器が電波を中継しないため、照明器具を制御することはできません。

※引き続き、以下の設定を各コントローラの取扱説明書を参照して必ず行ってください。

- ・コントローラと照明器具のペアリング設定  
(このとき、通信補助器は電源を入れた状態で行ってください)
- ・その他コントローラの各種設定

# 設定の前に

通信補助器はハンディライコンで設定することで、コントローラからの電波を中継することができます。  
ハンディライコン、コントローラの組み合わせにより異なりますので該当する組合せの設定方法を確認し、設定してください。

組合せA

PiPit  
ハンディライコン  
[NK23041]

+

コントローラ  
(壁付け)  
[NQ23111]  
[NQ23112]

+

通信  
補助器

組合せB

PiPit+  
ハンディライコン  
[NK23091]

+

コントローラ  
(壁付け)  
[NQ23111]  
[NQ23112]  
[NQ23151]

+

通信  
補助器

組合せC

PiPit+  
ハンディライコン  
[NK23091]

+

コントローラ  
(天井付け)  
[NQ23171Z]  
[NQ23185K]

+

通信  
補助器

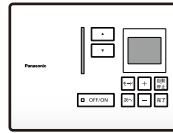
# 設定詳細 組合せA

組合せA

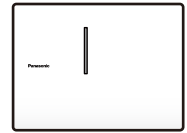
PiPit  
ハンディライコン  
[NK23041]



コントローラ  
(壁付け)  
[NQ23111]  
[NQ23112]



通信  
補助器



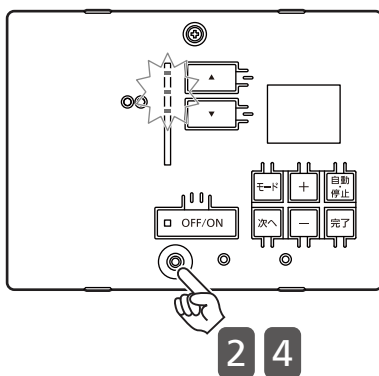
## 1. コントローラと通信補助器の通信確認

### 1 コントローラと通信補助器の電源を入れる

### 2 コントローラの化粧カバーを外し、『設定ボタン』を長押し（5秒以上）し、ペアリング設定状態にする

『設定ボタン』を長押しすると、調光レベル表示灯の上3つが点滅し、ペアリング設定状態となりペアリング信号を送信します。  
※ペアリング設定状態で10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

コントローラ（壁付け）



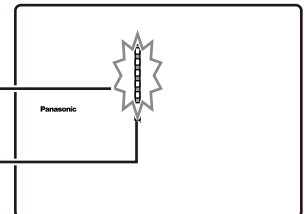
### 3 通信補助器の通信状況を確認する

通信補助器の状態LEDを確認してください。

状態LEDが通信環境に応じて  
1～6つのLEDが点灯します。

※最下部のLEDは、  
通電LEDです。

通信補助器



#### 状態LEDの点灯している数は？

※通電 LED の点灯は数に  
入れないでください。

4つ以上 → 設定位置に問題はありません。

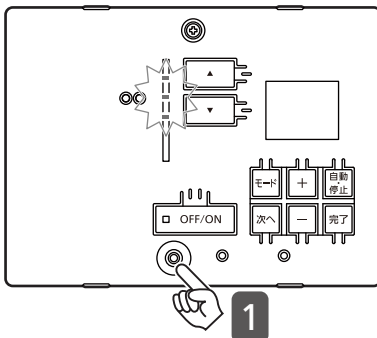
1つ以上 → 環境の変化により通信ができなくなる可能性があります。4つ以上点灯する場所に変更することをお勧めします。

点灯なし → 状態LEDが点灯する場所に通信補助器の設置位置を変更してください。

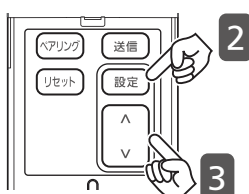
### 4 コントローラの『設定ボタン』を長押し（5秒以上）し、ペアリング設定状態を終了する

## 2. コントローラと通信補助器のペアリング設定

コントローラ（壁付け）



PiPitハンディライコン



### 1 コントローラの化粧カバーを外し、『設定ボタン』を長押し（5秒以上）し、ペアリング設定状態にする

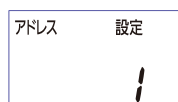
『設定ボタン』を長押しすると、調光レベル表示灯の上3つが点滅し、ペアリング設定状態となりペアリング信号を送信します。  
※ペアリング設定状態で10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

### 2 通信補助器の化粧カバーをはずし、PiPitハンディライコンのフタを開けて『設定ボタン』を4回押ししてアドレス・設定画面を選択する



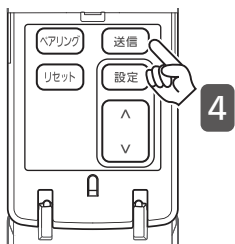
液晶画面に「アドレス設定」とアドレス番号が表示されます。

### 3 『↑↓ボタン』を押してアドレスを決定する



液晶画面にアドレス番号が変わります。

## PiPitハンディライコン



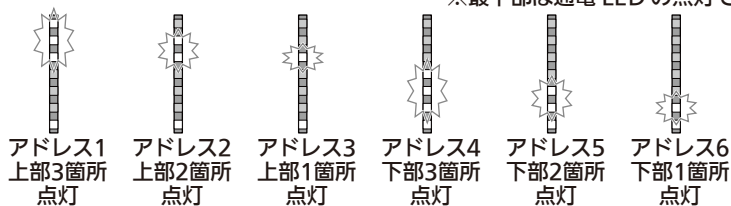
4

送信

通信補助器の赤外線受光部に向けて『送信ボタン』を押す

送信したアドレスに対して下記の状態LEDが3回点滅します

※最下部は通電LEDの点灯です。



アドレス1  
上部3箇所  
点灯

アドレス2  
上部2箇所  
点灯

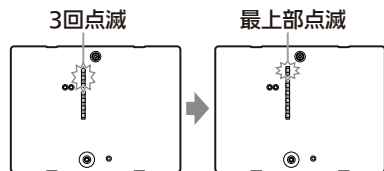
アドレス3  
上部1箇所  
点灯

アドレス4  
下部3箇所  
点灯

アドレス5  
下部2箇所  
点灯

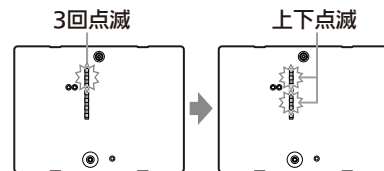
アドレス6  
下部1箇所  
点灯

ペアリングが成功した場合



状態LEDが3回点滅した後、最上部のLEDが1箇所点滅します。

ペアリングに失敗した場合



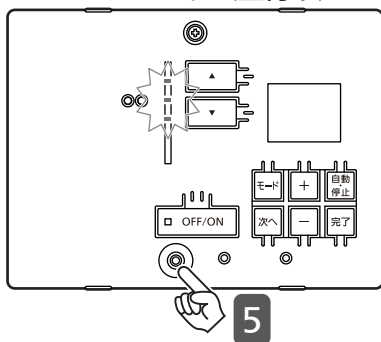
状態LEDが3回点滅した後、上部3つと下部3つのLEDが交互に点滅します。

通信補助器が複数ある場合

3 4 を繰り返し全ての通信補助器のペアリング設定を行ってください。その際、3 でアドレス「1」～「6」を選択できます。アドレスが重複しないように各通信補助器のペアリング設定を行ってください。

※アドレスが重複している場合、正しく電波を中継できない場合があります。

## コントローラ（壁付け）



5

設定

コントローラの『設定ボタン』を長押し（5秒以上）し、ペアリング設定状態を終了する

『設定ボタン』を長押しし（調光レベル表示灯の上3つが点滅が終了）コントローラを通常状態に戻して通信確認を終了します。



※引き続きコントローラの設定を行ってください。  
（各コントローラの取扱説明書参照）

※2～4の手順は通信補助器の『設定ボタン』長押し（5秒以上）の操作でも代用できます。  
この場合はアドレス1にしか設定されませんので、複数台設定する場合は上記操作で設定してください。

## 設定詳細 組合せB

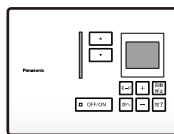
組合せB

PiPit+  
ハンディライコン  
[NK23091]



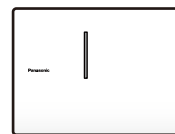
+

コントローラ  
（壁付け）  
[NQ23111]  
[NQ23112]  
[NQ23151]



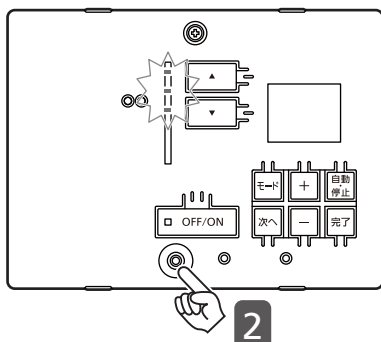
+

通信  
補助器



### 1. コントローラと通信補助器の通信確認

#### コントローラ（壁付け）



1

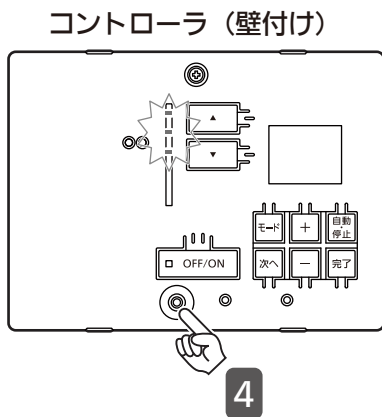
コントローラと通信補助器の電源を入れる

2

コントローラの化粧カバーを外し、『設定ボタン』を長押し（5秒以上）し、ペアリング設定状態にする

『設定ボタン』を長押しすると、調光レベル表示灯の上3つが点滅し、ペアリング設定状態となりペアリング信号を送信します。

※ペアリング設定状態で10分経過すると自動で通常状態に戻ります。



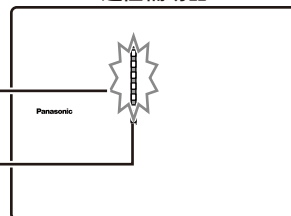
### 3 通信補助器の通信状況を確認する

通信補助器の状態LEDを確認してください。

状態LEDが通信環境に応じて  
1~6つのLEDが点灯します。

※最下部のLEDは、  
通電LEDです。

通信補助器



#### 状態LEDの点灯している数は？

※通電 LED の点灯は数に  
入れないでください。

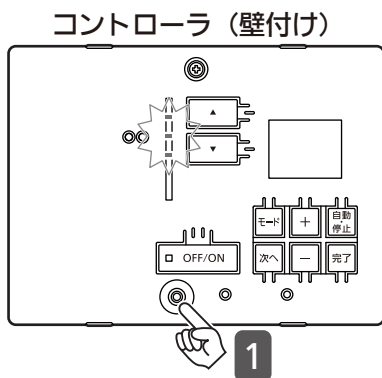
4つ以上 → 設定位置に問題はありません。

1つ以上 → 環境の変化により通信ができなくなる可能性があります。4つ以上点灯する場所に変更することをお勧めします。

点灯なし → 状態LEDが点灯する場所に通信補助器の設置位置を変更してください。

### 4 ④ コントローラの『設定ボタン』を長押し(5秒以上)し、ペアリング設定状態を終了する

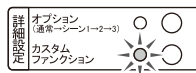
## 2. コントローラと通信補助器のペアリング設定



### 1 ④ コントローラの化粧カバーを外し、『設定ボタン』を長押し(5秒以上)し、ペアリング設定状態にする

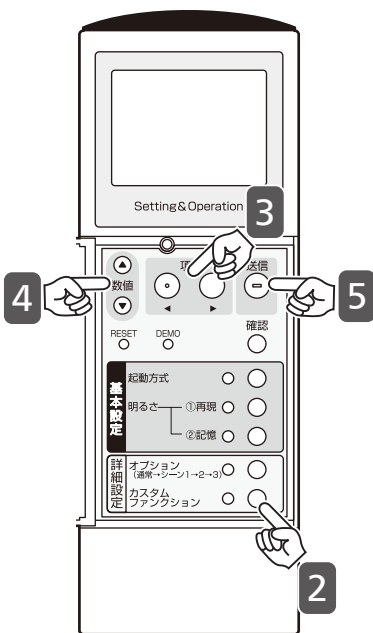
『設定ボタン』を長押しすると、調光レベル表示灯の上3つが点滅し、ペアリング設定状態となりペアリング信号を送信します。  
※ペアリング設定状態で10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

### 2 通信補助器の化粧カバーをはずし、PiPit+ハンディライコンのフタを開けて『カスタムファンクションボタン』を押す



スイッチ横のLEDが点灯します

PiPit+ハンディライコン



### 3 ④ 『項目ボタン』を押して、液晶画面を「19」にする



液晶画面に「19」と「000」が表示されます。

### 4 ④ 『数値ボタン』を押して、アドレスを設定する

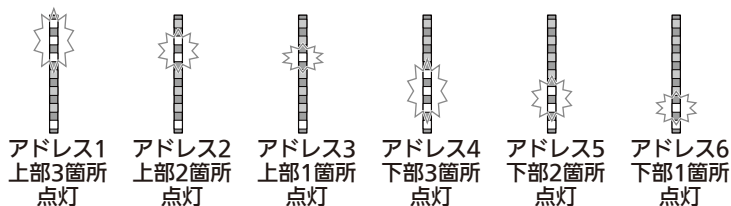


アドレス番号が変わります。  
「001」～「006」を選択してください。

### 5 ④ 通信補助器の赤外線受光部に向けて『送信ボタン』を押す

送信したアドレスに対して下記の状態LEDが3回点滅します

※最下部は通電 LED の点灯です。



アドレス1  
上部3箇所  
点灯

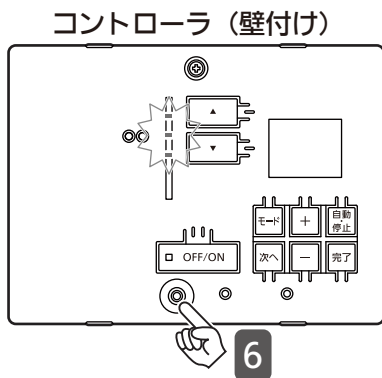
アドレス2  
上部2箇所  
点灯

アドレス3  
上部1箇所  
点灯

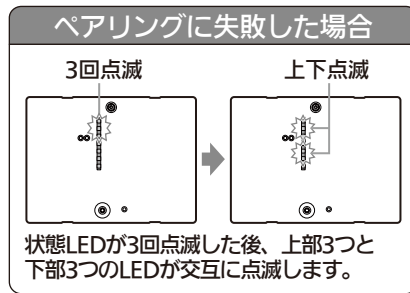
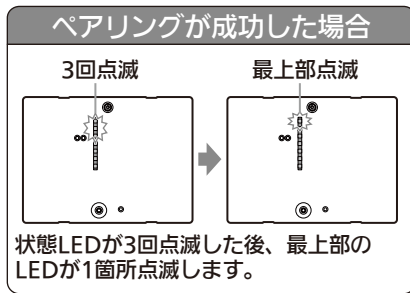
アドレス4  
下部3箇所  
点灯

アドレス5  
下部2箇所  
点灯

アドレス6  
下部1箇所  
点灯



5  
5  
5



**通信補助器が複数ある場合**

4 5 を繰り返し全ての通信補助器のペアリング設定を行ってください。その際、4 でアドレス「1」～「6」を選択できます。アドレスが重複しないように各通信補助器のペアリング設定を行ってください。  
※アドレスが重複している場合、正しく電波を中継できない場合があります。

6

◎ コントローラの『設定ボタン』を長押し(5秒以上)し、ペアリング設定状態を終了する

『設定ボタン』を長押しし(調光レベル表示灯の上3つが点滅が終了)コントローラを通常状態に戻して通信確認を終了します。

※引き続きコントローラの設定を行ってください。(各コントローラの取扱説明書参照)

※2~5の手順は通信補助器の『設定ボタン』長押し(5秒以上)の操作でも代用できます。この場合はアドレス1にしか設定されませんので、複数台設定する場合は上記操作で設定してください。

**設定詳細 組合せC**

組合せC

PiPit+  
ハンディライコン  
[NK23091]



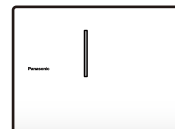
+

コントローラ  
(天井付け)  
[NQ23171Z]  
[NQ23185K]



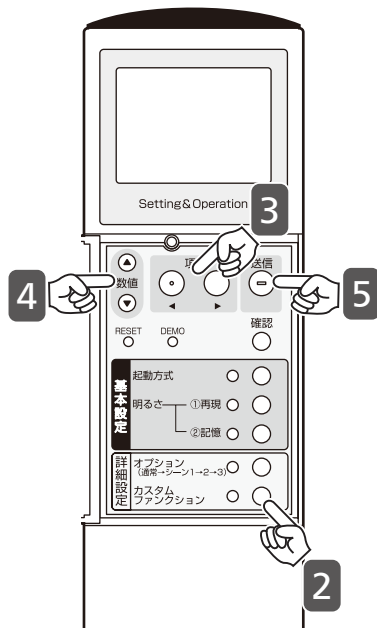
+

通信  
補助器



**1. コントローラと通信補助器の通信確認**

PiPit+ハンディライコン

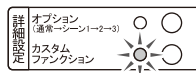


1

コントローラと通信補助器の電源を入れる

2

PiPit+ハンディライコンのフタを開けて『カスタムファンクションボタン』を押す



スイッチ横のLEDが点灯します

3

『項目ボタン』を押して、液晶画面を「02」にする



液晶画面に「02」が表示されます。

4

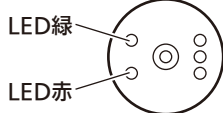
『数値ボタン』を押して、「1」を選択する



「1」が表示されます。

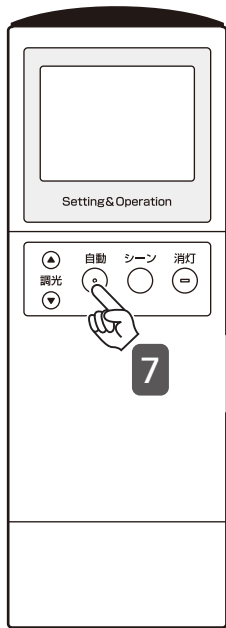
5

コントローラに向けて『送信ボタン』を押す



ペアリング設定状態中は、LED赤・緑が点滅します。※ペアリング設定状態は10分経過すると自動で通常状態に戻ります。



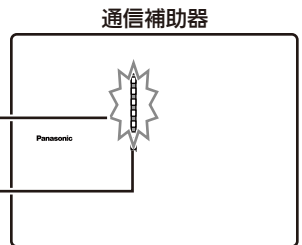


## 6 通信補助器の通信状況を確認する

通信補助器の状態LEDを確認してください。

状態LEDが通信環境に応じて  
1~6つのLEDが点灯します。

※最下部のLEDは、  
通電LEDです。



### 状態LEDの点灯している数は？

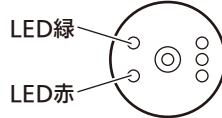
※通電 LED の点灯は数に  
入れないでください。

4つ以上 → 設定位置に問題はありません。

1つ以上 → 環境の変化により通信ができなくなる可能性があります。4つ以上点灯する場所に変更することをお勧めします。

点灯なし → 状態LEDが点灯する場所に通信補助器の設置位置を変更してください。

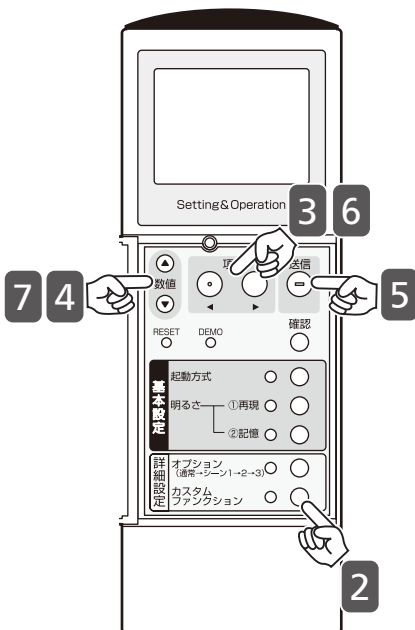
## 7 PiPit+ハンディライコンのフタを閉じてコントローラに向けて『自動ボタン』を押し、ペアリング設定状態を終了する



PiPit専用コントローラのLED赤・緑点滅が  
終了します。

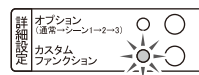
## 2. コントローラと通信補助器のペアリング設定

PiPit+ハンディライコン



### 1 コントローラと通信補助器の電源を入れる

### 2 PiPit+ハンディライコンのフタを開けて『カスタムファンクションボタン』を押し



スイッチ横のLEDが点灯します

### 3 『項目ボタン』を押して、液晶画面を「2」にする



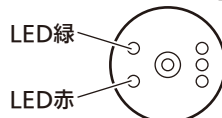
液晶画面に「2」が表示されます。

### 4 『数値ボタン』を押して、「1」を選択する



「1」が表示されます。

### 5 コントローラに向けて『送信ボタン』を押す



ペアリング設定状態中は、LED赤・緑が点滅します。  
※ペアリング設定状態は10分経過すると自動で  
通常状態に戻ります。

### 6 『項目ボタン』を押して、液晶画面を「19」にする



液晶画面に「19」が表示されます。

### 7 『数値ボタン』を押して、アドレスを設定する

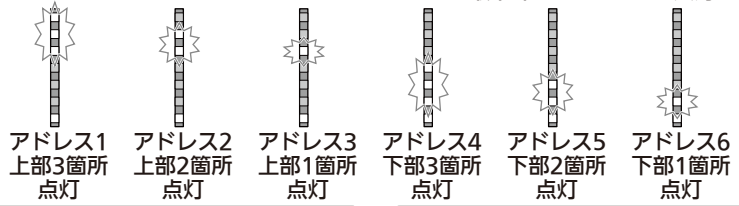


アドレス番号が変わります。  
「001」～「006」を選択してください。

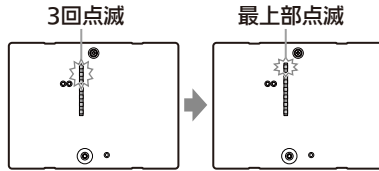


## 8 通信補助器の赤外線受光部に向けて『送信ボタン』を押す

送信したアドレスに対して下記の状態LEDが3回点滅します  
※最下部は通電 LED の点灯です。

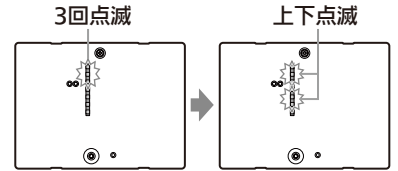


### ペアリングが成功した場合



状態LEDが3回点滅した後、最上部のLEDが1箇所点滅します。

### ペアリングに失敗した場合



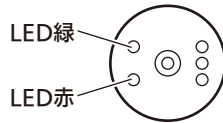
状態LEDが3回点滅した後、上部3つと下部3つのLEDが交互に点滅します。

### 通信補助器が複数ある場合

7 8 を繰り返し全ての通信補助器のペアリング設定を行ってください。その際、7 でアドレス「1」～「6」を選択できます。アドレスが重複しないように各通信補助器のペアリング設定を行ってください。

※アドレスが重複している場合、正しく電波を中継できない場合があります。

## 9 PiPit+ハンディライコンのフタを閉じてコントローラに向けて『自動ボタン』を押し、ペアリング設定状態を終了する



PiPit専用コントローラのLED赤・緑点滅が終了します。

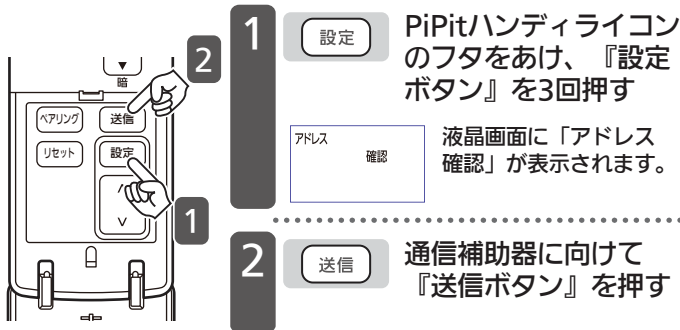
※引き続きコントローラの設定を行ってください。  
(各コントローラの取扱説明書参照)

※6～8の手順は通信補助器の『設定ボタン』長押し（5秒以上）の操作でも代用できます。  
この場合はアドレス1にしか設定されませんので、複数台設定する場合は上記操作で設定してください。

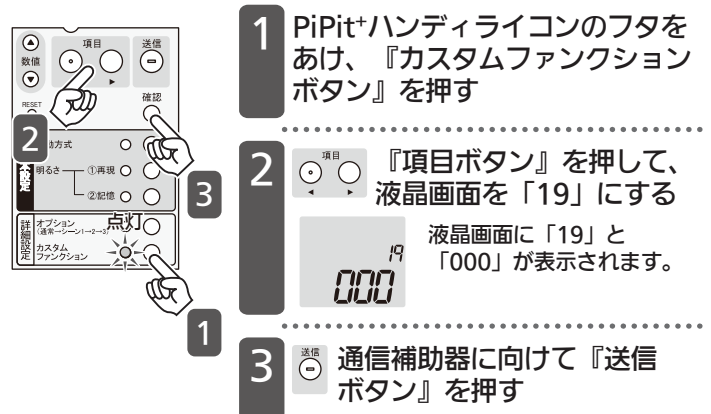
## 通信補助器のアドレス確認

通信補助器に設定されているアドレスは下記の方法で確認することができます。

<PiPit+ハンディライコンを使用する場合>



<PiPit+ハンディライコンを使用する場合>



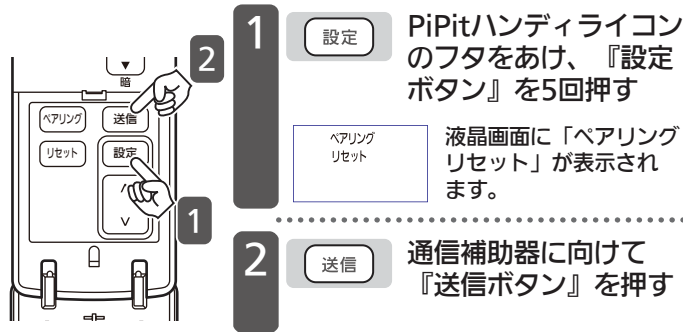
### ■アドレス送信後の状態LEDの点灯



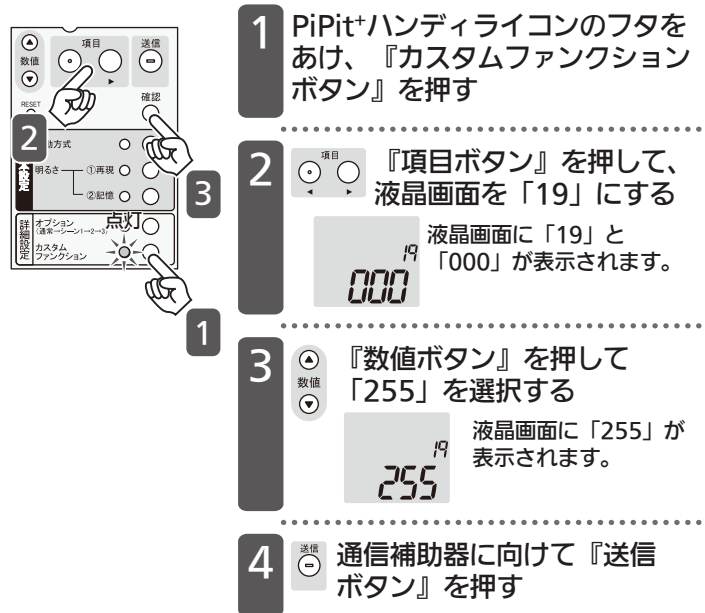
# 通信補助器のペアリングを解除する

通信補助器に設定されているペアリングやアドレスを解除します。

<PiPitハンディライコンを使用する場合>



<PiPit+ハンディライコンを使用する場合>



## 困ったとき

こんなとき	考えられる原因	対処方法
コントローラとペアリング設定ができない。	コントローラの電源が入っていない。	コントローラの電源を入れてください。
	通信補助器の電源が入っていない。	通信補助器の電源を入れてください。
	ハンディライコンの電池が消耗している。	ハンディライコンの電池を交換してください。
	電波が届いていない。	通信補助器の設置位置を見直すか、通信補助器をもう一台追加してください。
消灯・調光操作ができない。	コントローラと照明器具とのペアリング設定を実施していない。	コントローラの取扱説明書を参照して、ペアリング設定を実施してください。
	コントローラ、通信補助器、照明器具のいずれかの電源が入っていない。	電源を入れてください。

## よくある質問

### Q1 コントローラの通信距離を延長することは可能ですか？

- 可能です。  
コントローラの通信距離から通信補助器の通信距離（中心から20m）を延長することができます。（通信補助器はコントローラの通信距離内に設置してください。）  
ただし、通信補助器間の中継はできませんのでそれ以上は延長できません。

### Q2 異なる品番の通信補助器（PiPitシリーズ）を混在して使用できますか？

- 可能です。  
コントローラとのペアリング設定時にアドレスを重複しないように設定してください。

### Q3 通信補助器を新たに追加するにはどうしたらいいですか？

- 既に設置されている通信補助器のアドレスを確認し、新たに追加する通信補助器をコントローラとペアリング設定する際に空いているアドレスで設定してください。（既にコントローラ1台に対して、通信補助器を6台使用されている場合は追加できません。）

# お手入れについて

- 表面の汚れは、やわらかい布でふきとってください。水や洗剤は使わないでください。水気が機器に浸入すると故障の原因となります。また、色落ち・キズなどの原因となりますので、硬い布やシンナー、ベンジンなどは使わないでください。

# 安全点検について

下記の「安全チェックシート」の各項目について確認し、該当する場合は点検結果に○を記入してください。

安全点検項目		区分	点検結果
使用状況・環境	使用期間は 10 年以上である。	B	
	使用期間は 15 年以上である。	A	
	累積使用時間は 40,000 時間以上である。	A	
	器具の使用温度が高い (35℃以上)。	B	
	電源電圧が高い。又は低い。(定格の 106%以上、94%以下)	B	
	分岐回路の絶縁抵抗は 0.2MΩ以下 (200V) 又は 0.1MΩ以下 (100V) である。	A	
	取付部に常時震動が加わっている。	B	
	使用場所に水気・湿気が多い。	B	
	使用場所に腐食性ガス (温泉・塩害を含む)・じんあいが多い。	B	
通信補助器	本体・パネルなどが手で触れないくらい熱くなる。(60℃以上)	A	
	本体・パネルなどに変形・ひび割れなどがある。	A	
	めっき面などにふくれ・剥離などがある。又は錆が出ている。	B	
	焦げ臭いにおいがする。	A	
	可動部分 (電源スイッチ・ボリュームなど) の動きが鈍い。	B	
	電線に著しい変色・ひび割れなどがある。	A	
	電線接続部 (端子台など) が接触不良 (緩み、抜けなど) を起こしている。	A	

## 【点検結果の判定】

- ・区分 A の○印が 1 個でもあれば、調査したライコンは劣化状態が相当進行し、危険な状態に至っていることがあります。速やかに交換してください。
- ・区分 B の○印が 1 個でもあれば、調査したライコンは劣化状態が進行していることがあります。交換又は継続的に点検してください。

上記項目以外でも不具合があれば、工事店などの専門家にご相談ください。

# 仕様

定格電圧	AC100~242V (50/60Hz) (付属電源コードは100V専用)	適合コントローラ	NQ23111、NQ23112、NQ23151 NQ23171Z、NQ23185K
使用温度範囲	0~35℃ (結露なきこと)	適合リモコン	PiPitハンディライコン
制御方式	無線通信 (中心周波数: 927.2MHz)	適合負荷	PiPit+ハンディライコン 当社製PiPit調光シリーズLED器具 (起動方式: RZ)

## 無線通信 (電波) に関して

- ・本器には認証済みの920MHz帯特定小電力無線設備を内蔵しています。
- ・この920MHz帯特定小電力無線設備は分解・改造することは法律で禁じられています。
- ・この920MHz帯特定小電力無線設備は外国の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 パナソニック照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター  
0120-878-709 (フリーダイヤル) 0120-872-460 (FAX)